

# 「古里の勉強を」と激励

## 東高校、236人巣立つ

### 美術文化コースから初の卒業生



新たな門出を祝福する金沢東高校卒業式 = 金沢市観光会館

金沢東高校の第五十回卒業証書授与式は三月一日、金沢市観光会館で行われ、卒業生二百三十六人が高校生活を振り返り、新しい門



青山校長から卒業証書を授与される斉藤啓子さん

出にあたっての決意を新たにしました。初の卒業生となる美術文化コースの二十二人ははじめ、一人ひとりの名前をクラス担任が読み上げたあと、青山克彌校長が総代の斉藤啓子さんに卒業証書を手渡しました。

青山校長が式辞で、「もっと古里を勉強してほしい」と述べ、飛田秀一学校法人金沢学院大学理事長は告辞で「自分を好きになってほしい」との言葉を贈りました。斉藤千佳子同窓会会長が「いろいろ困難も建学の精神で乗り越えてくださ



答辞を読み上げる卒業生総代の領毛宏之君

校長式辞(抜粋) 卒業生諸君に二つお願いしたいことがあります。一つは、ふるさと金沢、石川県のことをもっと勉強してほしいということです。灯台下暗しとも言いますが、身近なこと、手近なことはかえって知らない、関心を持たないという傾向があるようです。ふるさと」のことをよく知らないよつでは、自分自身を否定することになりかねません。

いと激励しました。在校生代表の吉多健一君(二年)が送辞を述べたのに対し、卒業生総代の領毛宏之君が「一歩一歩前に向かって進み、すべての人にも物にも感謝の心を持ち続

第二は、昨年四月から全校挙げて取り組んできた「挨拶の励行」を、卒業後もぜひ続けてほしい。日常生活での振る舞いを節度ある美しいものにしてほしいのです。挨拶を交わす、他人に何かしてもらったらキチンとお礼を言う、公共のルールを守る、マナーに反することはしない。行儀よくすることが、いかにその人を美しく見せるか、を再認識して頂きたいのです。

けていきます」と力強く答辞を述べました。会場の玄關では、恩師や級友を囲んで記念写真に納まるなど、名残を惜しむ姿があちらこちらで見られました。

## 自分を好きになって

理事長告辞(抜粋)

「新たな旅立ちにあたり、自分を好きになってほしい」という言葉を贈ります。そのためには、まず自分で自分のことがよく分かっていることが必要です。自分

分の長所、短所、欠点はどこか、あるいは自分が人より優れていると思えることは何か、この点がこの人にはかなわないか、思っていることがないかと考えてほしいのです。

日本人は謙虚で、自分を自分で高く評価するのは避ける傾向があると言われていますが、自分はどういう人間かを正確に知ることは大事です。自分の能力や価値を認めない、あるいは、自分の能力や価値に気づかないのは不幸なことです。「自分を好きになる」も

う一つの意味として、自分の生命を大切にしてください。人生は、たった一度しかありません。この人生を充実したものにするために自分が自分を大切にすることが大切です。自分が自分を大切にすると同じように、周りの人も大切にしてください。

### 土曜大学でトランポリン教室



金沢学院大学基礎教育機構主催の土曜大学第十一回公開講座は二月二十一日、

金沢東高校体育館で開催され、跳んで跳んでトランポリン」をテーマに福井卓也助教授がやさしく演技指導しました。参加した親子ら十七人は「跳び」「膝落とし」「腰落とし」「ひねり」の基本動作から、それらを組み合わせた連続動作でトランポリンの楽しさや難しさを体験しました。次回の土曜大学は最終回で、三月二十日に学長補佐の原榮一教授が講演します。

発行・広報室